

小田原・旧松本剛吉別邸

雨香亭 × 現代アート展

つど

ひと

「集いの間、独りの間」

くアートで茶室再生く

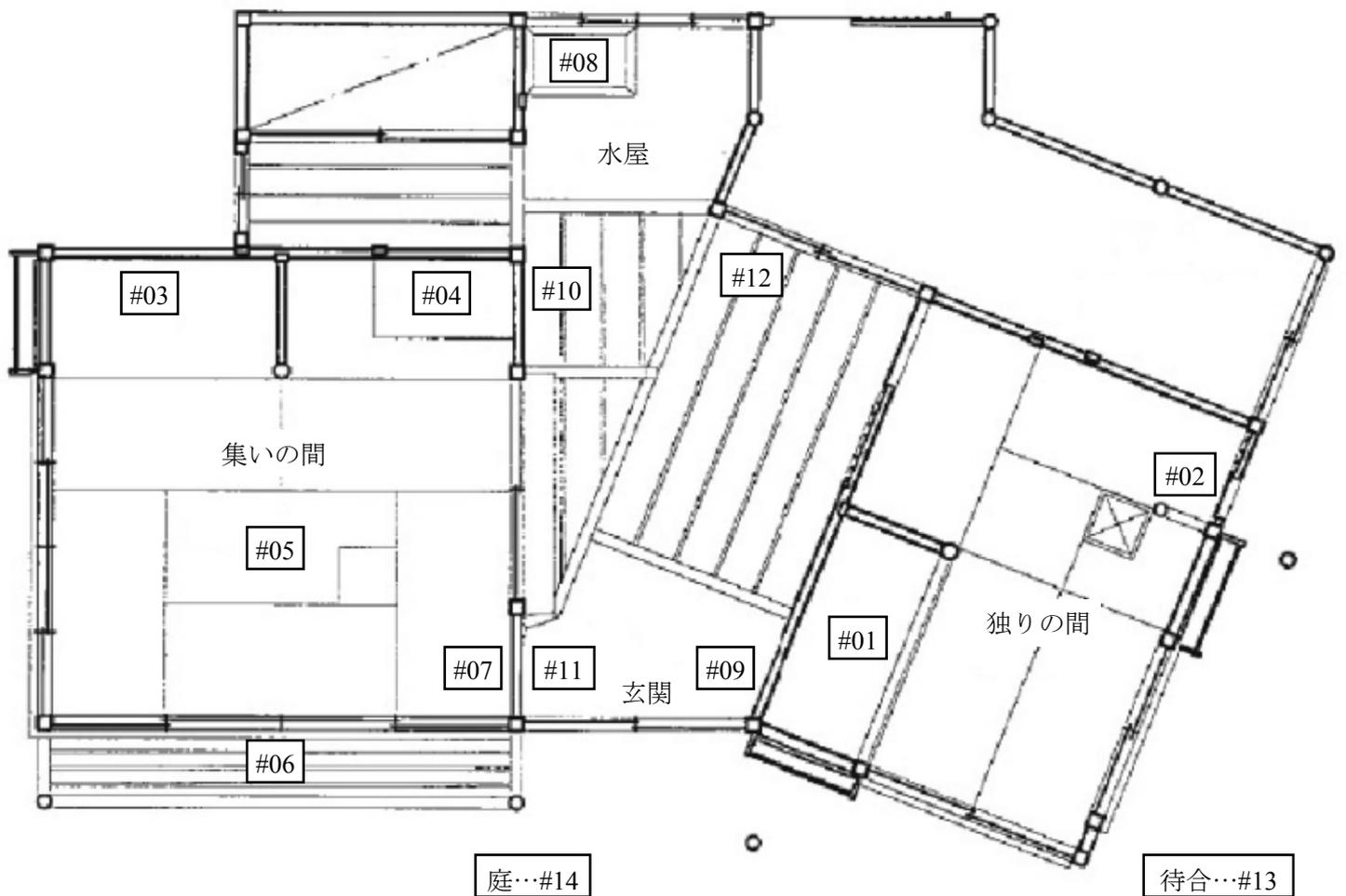
旧松本剛吉別邸・雨香亭

平成29年 2月18日(土)・19日(日) 10時～16時 (19日は15時まで)



平成28年度小田原市文化創造活動担い手育成事業/アートマネジメント・ワークショップ2016事業
おだわら城町(しろまち)アートプロジェクト～小路(まち)を歩く・アートを歩く～参加事業

【主催】おだわら文化事業実行委員会(小田原市・一般財団法人小田原市事業協会)



#01	「3.11への祈り」	キャンバス、油彩	2012	朝比奈 賢
#02	「考えの路」	ブロンズ	2016	〃
#03	「未来へ咲け」	キャンバス、和紙、油彩	2014	〃
#04	「みらい描く」	木、和紙、油彩	2014	〃
#05	「間合いの力学」	木、真鍮	2010	〃
#06	「考えを組む」	木	2015	〃
#07	「小遊星」	キャンバス、油彩	2013	〃
#08	「光の地図」	ガラス、樹脂、油彩	2014	〃
#09	「交信する異次元Ⅱ」	油彩	2013	〃
#10	「隠れた月」	木、和紙、油彩	2014	〃
#11	「知性」	木、和紙、寄木シート、油彩	2014	〃
#12	「内なる聖堂」	油彩	2011	〃
#13	「心のフォルム」など	発泡スチロール、紙粘土、アクリル絵具など		利根川佳江
#14	「微かな記憶」	トタン板	2011	ノモトヒロシ

雨香亭×現代アート展「集いの間、独りの間」に寄せて

雨香亭にはふたつの間があります。一方は天井の高い、ガラス窓で囲まれた広がりのある空間、もう一方は天井の低い、間仕切られた親密感のある空間です。このふたつの対照的な部屋で、どのように過ごしたら充実した気持ちになれるのだろうか。そこで、人の「集いたい」、「独りになりたい」というふたつの相反する気持ちに着目しました。

天井の高い部屋を「集いの間」とし、暖を取ってお茶が飲めるように、大きなこたつを配しました。床の間には、「未来へ咲け」という、いのちのよろこびを描いた作品を飾っています。この絵は2014年に、津波被災地の方々がすこしでも前向きな気持ちになればと制作し、岩手県大槌町で発表しました。

天井の低い部屋を「独りの間」とし、雨戸を閉め切り真っ暗にしました。床の間には「3.11への祈り」という、震災で亡くなった方々を追悼する作品を飾っています。この絵は2012年に、大槌町・山田町を訪れて、展覧会・コンサート・ワークショップを開催した際、現地の方々から聴いた壮絶なお話が元になって制作しました。犠牲になった方々と、そうでなかった我々との境にあるものは何であろうか。その理不尽な想いを鎮めるための窓口です。「独り」と銘打ってはいますが、実は、もう会えない方々と対面する間でもあります。

こぢんまりとした茶室ですが、ふたつの「間」でいのちの〈よろこび〉と〈かなしみ〉を味わって下さい。

朝比奈 賢<平面作品、立体作品、ディレクション>

大磯在住。1974年生まれ。97年アメリカVirginia Techへ交換留学。99年横浜国立大学建築学科卒業の後、2000年より絵画の制作活動を開始。05年、すどう美術館の海外研修生としてマドリッド留学。同地にて初個展。翌年すどう美術館「若き画家たちからのメッセージ展」すどう美術館賞受賞、個展。11年、小田原アーティストインレジデンス参加。12～14年『東日本げんきアートプロジェクト』に参加し、被災地にて展覧会・コンサート・ワークショップを開催。その他、スペイン、ドイツ、アメリカのアートフェア出展。16年スロベニアアーティストインレジデンス参加。その後、首都リュブリャナにて日本人現代美術展企画(日本大使館主催)。14年より湘南アートベースを主催し「小田原アートホテル」企画、15年より「大磯アートハウス」運営。(進行中のプロジェクト)17年国交樹立25周年スロベニア-日本現代美術交流展「わたしを形づくってきたもの」"What made me what I am?" 企画中。

現在、箱根芸術創造空間「風伯」にて、朝比奈賢個展「内なる自然」を開催中。(3月31日まで)

作品協力 …利根川 佳江<待合>、ノモトヒロシ<庭>

雨香亭で聴く朗読『ことばに集う』

◆時間 18日(土)・19日(日) 11時00分～、13時30分～(各回20分程度)

アート作品を観ていると、その世界に入り込み、自由に泳いでいるような感覚になることがあります。それは、アートとわたしとの対話の始まりです。今回、「集いの間、独りの間」に飾られている2つの作品から浮かんだイメージをもとに、ことばを紡ぎました。どうぞ、お楽しみください。

御幸 菜穂子<朗読>

朗読家。現代朗読協会所属。現在、アート作品がある空間で「アート×朗読パフォーマンス」を毎月1回開催中(大磯アートハウス)。その他、絵画×朗読ワークショップ、物語読み聞かせ、など声に関わるイベントを実施。楽器演奏家、舞踏家とのコラボレーションライブ出演歴多数。



＜旧松本剛吉別邸 雨香亭＞

● 建築年代：明治後期 ● 建築面積：51.08㎡(約15.50坪) ● 構造：木造平屋建て、寄棟造り

この土地は山縣有朋の側近である松本剛吉の別邸だった。敷地利用や建物等は、山縣有朋の影響を受けたと思われる数寄屋風の主屋と別棟に草庵風の茶室、庭園を見下ろす小高い丘に待合が備えられ、自然豊かな中に点在している。現在、毎週木～日曜日、午前11時～午後3時に一般公開を行っている。

＜アートマネジメント・ワークショップ＞

文化事業の企画・運営を学び、実際に事業を体験するワークショップです。「市民ホール」オープンに向けた文化活動の中間支援人材の育成を目的として、事業の企画・制作を通して、市民が主体となって行う文化活動の経験を積むとともに、人材の育成・交流を行うことを目的としています。

平成23年度から、全国公立文化施設協議会のアドバイザーであり、本市の文化政策課芸術文化活動専門員でもある間瀬勝一(ませ・しょういち)を講師として開催しています。芸術文化を通じて市民の皆さんが心豊かに過ごす時間を作ることを目指して、常に新しい事業を企画しています。

平成28年度は、平成28年9月から、11名の受講生が事業制作の基礎を学び、今回の展示会の運営を行っています。

■過去の開催実績■

平成24年度「おだわらっ子 夏休み音楽会」平成24年7月21日／生涯学習センターけやき

平成25年度「音楽のプレゼントby ODAWARA」平成25年12月22日／小田原市民会館大ホール

平成26年度「PETTAN ART in小田原まちなか軽トラ市」平成26年11月30日／銀座通り軽トラ市会場

「春ね！ミニコンサート」「キッズ&ファミリーファッションショー」平成27年1月25日／小田原地下街HaRuNeおだわら

平成27年度「親子で旅するバラエティーショー『お話めぐり音めぐり』」平成28年1月9日／小田原市民会館小ホール

しろまち

まち

おだわら城町アートプロジェクト～小路を歩く・アートを歩く～(同時期開催)

城下町の風情が残る小路に点在する歴史的建造物などで、現代アートの展示やクラフト市、ワークショップを開催します。小田原城から一足のばして、歴史文化と現代アートの融合を楽しむプロジェクトです。

◆旧瀬戸たばこ店×現代アート&クラフト展「出会いの間、賑わいの間」

2月11日(土)～19日(日) 10時～16時 (19日は15時まで)

◆なりわい交流館「アートハットをつくろう」

2月18日(土) 10時30分～12時30分 ※要申込み

◆アートめぐり×スタンプラリー 2月18日(土)・19日(日) 10時～15時

旧松本剛吉別邸、旧瀬戸たばこ店、なりわい交流館をめぐりスタンプを集めよう！

集めた方に「おだわら・ゴモ・アート」オリジナル缶バッジをプレゼント！

